

## 第10回（仮称）新武蔵野クリーンセンター施設まちづくり検討委員会

### 傍聴者意見

: 現クリーンセンターの大きな特徴として「市民参加による建設がある」「現敷地 17,000 m<sup>2</sup>の中に建て替え用地を含んでいる」と聞いていた。今回の建て替え計画において、想定敷地面積に建て替え用地を含めるべきではないか！小金井市のようにならないで欲しい。

: 一つのモデルで了解せい、では理解は得られない。相変わらず建て替えありきの印象が強い。全コミセンの勉強会が予定していて、3コミセンは終わっているが、何の勉強会なのか分からない。その理由は、おそらくコンサルタントが提示した一案のみがサンプルで、対比する例や、事務局や市が提示している案の妥当性を解り易くするための勉強をどうしてきたのかを明らかにすれば、コミセンの勉強会も意味があると思います。

例 例えば、どうしても更新するところを補修等で延命して、H30年 H40年 または H50年まで延命する場合のコストとメリットとデメリット、そして生まれた時間で状況の変化や環境の世紀に対応したクリーンセンターの施策が研究できるので、コストや予算の裏付けを含め検すれば、更に解りやすい。

此れは一例。色々な角度から考えられる。どんな勉強とは、そんな研究も含む。